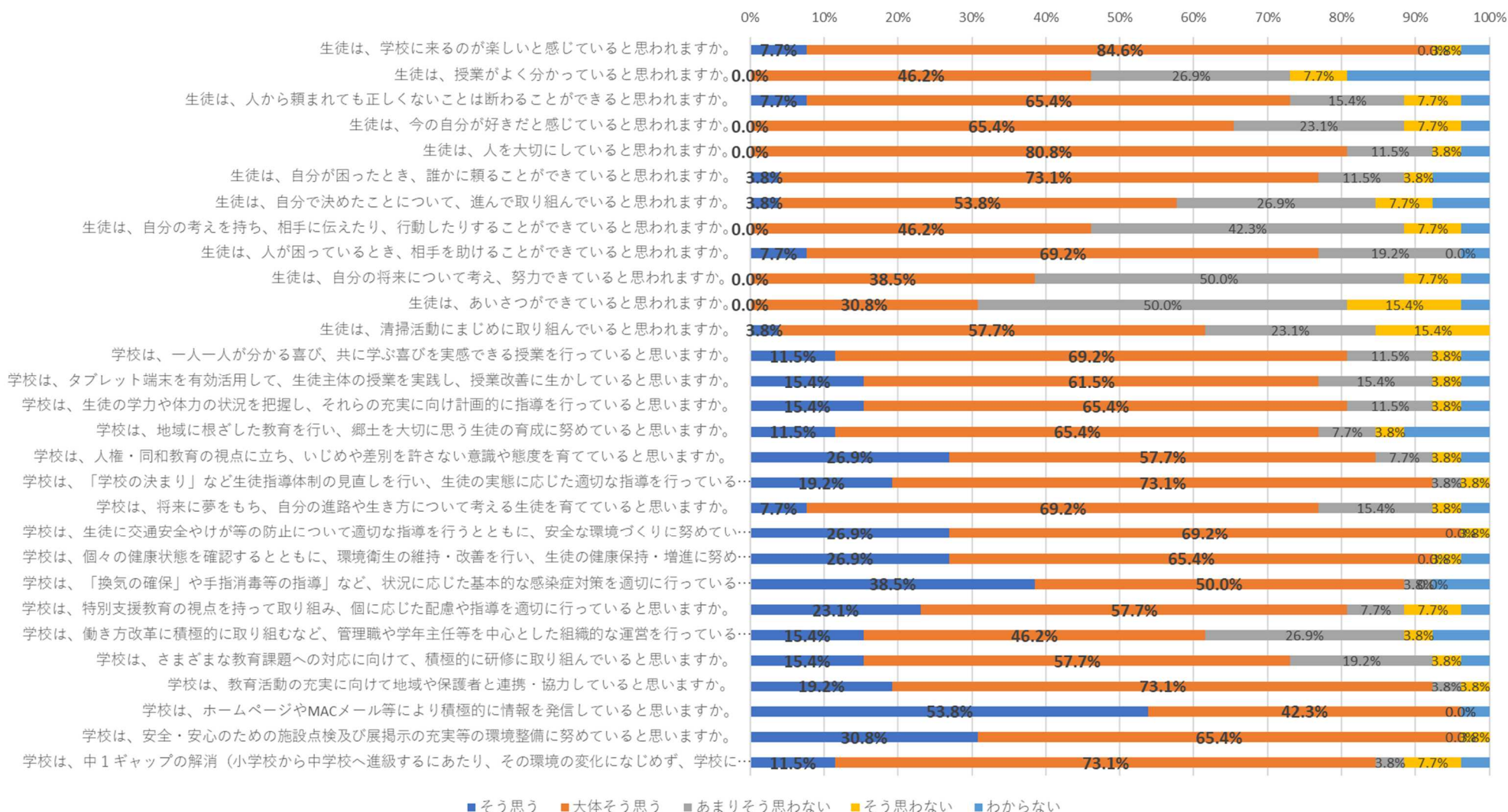


2学期 教職員



【分析と考察】

1 子どもの様子に関するもの

○「人を大切にしている」「相手を助けることができる」「学校に来るのが楽しい」の3項目は8割～9割が肯定的回答

△「授業がよく分かっている」は、4割弱が否定的回答

△「自分の考えを伝えたり行動したり」5割、「あいさつ」6割5分、「将来について…」約6割が否定的回答

2 学校の取組に関するもの

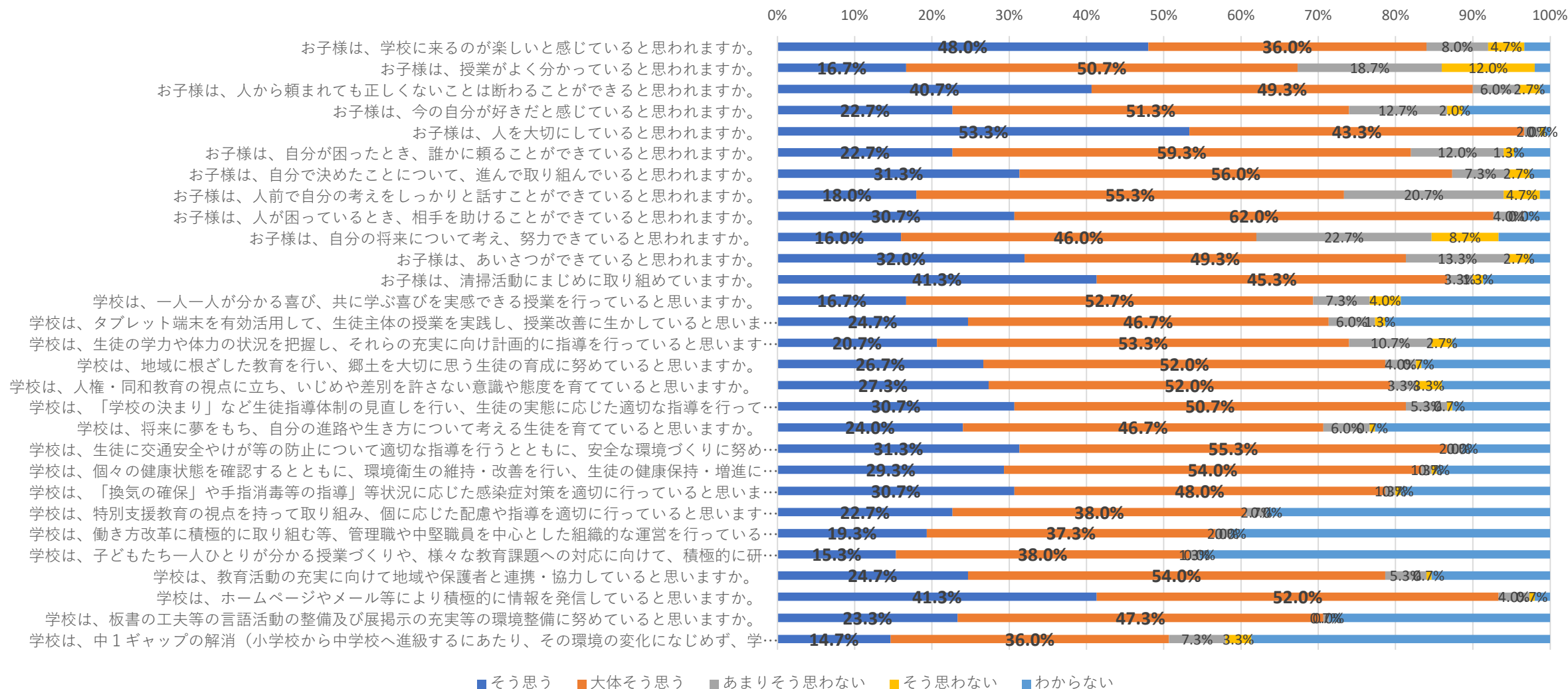
○「情報発信（ホームページ等）」「地域や保護者との連携」「感染症対策」「安全指導」など肯定的回答が高い。

△「働き方改革」約3割は否定的回答、「授業改善」への手ごたえは、75%肯定的回答であったが生徒側の「授業理解」肯定的回答45%との間に認識の乖離が見られる。

3 総合的な考察

- ・「学校が楽しい」「人を大切にしている」の項目の数値が高く、本校の教育環境がある程度、安定していると考えられる。
- ・日頃の取組の中で、学校教育目標の具現化し、生徒が主体的・自律的に行動する場面を意図的に創出する必要がある。
- ・情報発信や安全管理といった「仕組み」としての学校運営は比較的安定している。

2学期 保護者



【分析と考察】

1 子どもの様子に関するもの

○「人を大切にしている」「相手を助けることができる」「学校に来るのが楽しい」の3項目は8割～9割が肯定的回答

△「授業がよく分かっている」「将来について考え、努力している」の2項目は3割弱が否定的回答

→学習や進路に対する不安が保護者にもみられる傾向

2 学校の取組に関するもの

○「情報発信（ホームページ等）」「安全な環境づくり（交通安全など）」9割前後が肯定的回答

※「働き方改革」「特別支援教育」「中1ギャップ」については、「分からない」という回答が一定数含まれている。

→学校の内部的な取組については、より丁寧な説明や方向性の共有が必要

3 総合的な考察

○生徒・保護者ともに「学校が楽しい」「人を大切にしている」の項目の数値が高く、本校の教育環境がある程度、安定していると考えられる。

△「授業の理解」や「将来に向けた努力」は、肯定しつつも「強い自信」を持ちきれていない傾向が見られる。